

## ソーシャルビジネス事業化資金を最大 200 万円助成！ ～地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する ビジネスプランを募集します～

公益財団法人横浜企業経営支援財団（理事長 牧野 孝一、以下「IDEC」という。）では、地域の社会的課題を解決するビジネスプランを募集します。優秀なプランには、**最大 200 万円、対象経費の 1/2 以内の資金を助成**し、事業化をサポートします。募集期間は 12 月 25 日（金）まで（詳細は下記）。

少子化や高齢化の進展など、横浜は大きな転換期を迎え、子育て・福祉・環境等の社会的課題は多様化・複雑化しています。こうした地域が抱える社会的課題を、ビジネスの手法で解決し、暮らしやすい社会の実現や雇用の創出などにつなげるソーシャルビジネスへの期待はますます高まっています。そこで IDEC では「ソーシャルビジネス（SB）事業化助成金」事業として、ソーシャルビジネスを行う事業者へその事業化資金を支援します。

### 応募要領

- 対象事業** 横浜市内で、地域が抱える子育て・福祉・環境等の社会的課題をビジネスの手法で解決する事業
- 対象者** 次の①または②いずれかに該当する方で、平成 28 年 3 月 31 日以降も継続した運営が行われる事業
  - ① 1 年以内の起業を予定し、横浜市内で新たな事業を行う方
  - ② 横浜市内に主たる事務所があり、事業に着手してから 3 年以内の法人・個人事業主で、当該事業について新たな事業計画を有する方
- 募集期間** 平成 27 年 12 月 1 日（火）～平成 27 年 12 月 25 日（金）\*当日消印有効
- 応募方法** 所定の応募用紙に関係資料を添え、募集期間内に簡易書留にて郵送
- 郵送先** 〒231-0011 横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7 階  
 （公財）横浜企業経営支援財団 経営支援部経営支援課

### 条件

事業名	ソーシャルビジネス事業化助成金
助成額	上限 200 万円（直近事業年度の売上額の 1/10 以内、但し新規創業の場合は売上計画額の 1/10 以内）
助成内容	助成対象経費の 1/2 以内
売上規模	前年度売上 1 億円未満の事業者
経費額	助成対象経費の総額が 30 万円以上のもの
審査基準	①「地域社会への貢献性」：地域社会にとって要請が高い事業か ②「実現可能性」：事業を継続的に実施可能な事業計画及び執行体制を有しているか ③「事業収益性」：収益性があり、事業継続が可能な事業か
対象経費	設備費、広告宣伝費、外注費、謝金及び社員教育費、使用料及び賃借料、人件費等

\*詳細はホームページをご確認ください。 <http://www.idec.or.jp/kigyo/cb.php>

## 過去の実績

平成 22 年度の当事業ではビジネスプラン名『子育て支援活用促進及び相互支援コミュニティ事業「AsMama」』で応募された「株式会社 AsMama」に 200 万円を助成。

子育て支援活用促進のための情報冊子の発行とコミュニティサイトのオープンに際する資金を支援し、同社の事業開始をサポートしました。その後、同社の事業は成長・発展を遂げ、会員数も 3 万人を超えるまでになりました。

### <過去の助成先企業例>

<b>会社名</b>	株式会社 AsMama (英記: AsMama Inc.,)
<b>事業内容</b>	インターネットメディア事業
	ソーシャルニーズマッチング事業/子育てシェアサービス
	WEB 広報・マーケティング支援事業
	WEB 広告・宣伝支援事業
	リアルコミュニティ事業
	ダイレクト (ロコミ) 広報・マーケティング支援事業
	イベントやセミナーの企画、運営、コンサルティング
	地域コミュニティ創造・育成事業
	ブランディング広報支援
	情報発信事業
講演、執筆、出版など	
<b>設立</b>	2009 年 11 月 4 日
<b>代表者</b>	代表取締役 CEO 甲田恵子
<b>受賞歴</b>	2013. 12. 07 横浜市主催「ウーマンズビジネスフェスタ」最優秀賞受賞
	2014. 02. 18 「Japan Venture Awards 2014」 「社会貢献特別賞」受賞
	2015. 01. 09 よこはまグッドバランス賞受賞
	2015. 04. 27 「Rise Up Festa」にて、「最優秀賞」受賞

### お問合せ先

公益財団法人 横浜企業経営支援財団 経営支援部長 長谷部 亮 TEL045-225-3714